



発行日 平成 19 年 8 月 13 日

<http://www.applenet.jp/~aosui/>

発行 青森県水産総合研究センター

TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778

住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸 384-37

8月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○津軽暖流の下北半島東方への張り出しはやや強勢、親潮第1分枝の張り出しは、平年並～やや北偏で推移する。

○サンマの来遊量は昨年を下回る。

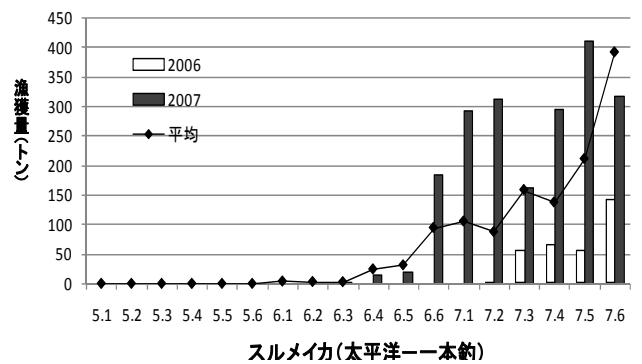
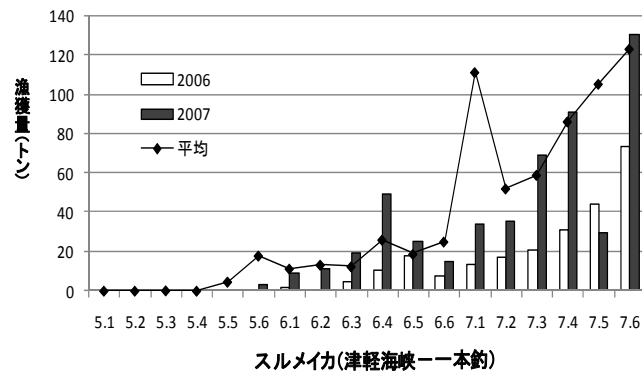
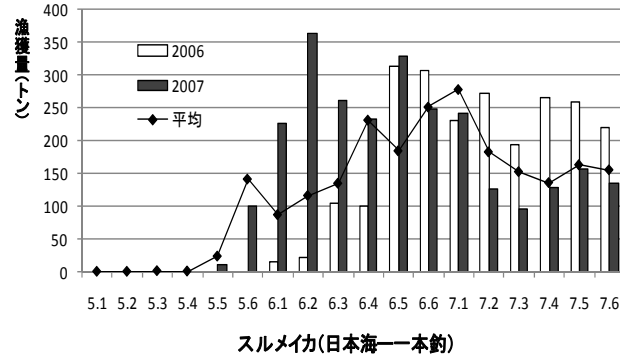
◎主要魚種の動き

1. スルメイカ（一本釣）

県内主要港の5～7月の累積漁獲量は5,177トンで、前年比163%の漁獲となりました。過去5年平均と比較すると126%で、2002年に次いで多い漁獲量となっています。

(1) 日本海（5～7月）

例年並みの5月下旬に漁期入りし、6月に入ると一気に漁獲量が増え、7月下旬までの累積漁獲量は2,649トンで、前年比115%、過去5年平均と比較すると120%でした。

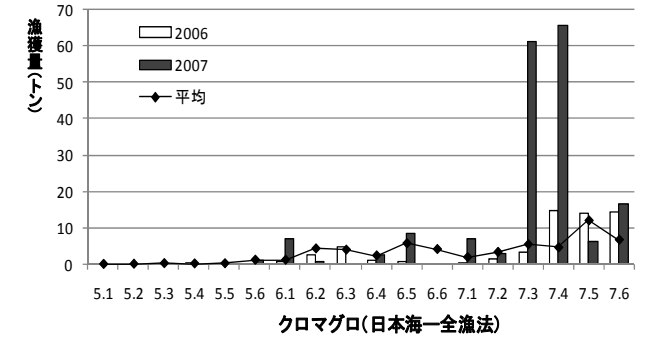


(3) 太平洋（八戸：5～7月）

6月下旬から過去5年平均を上回る漁獲があり、7月下旬までの累積漁獲量は2,009トンで、前年比636%、過去5年平均と比較すると152%でした。

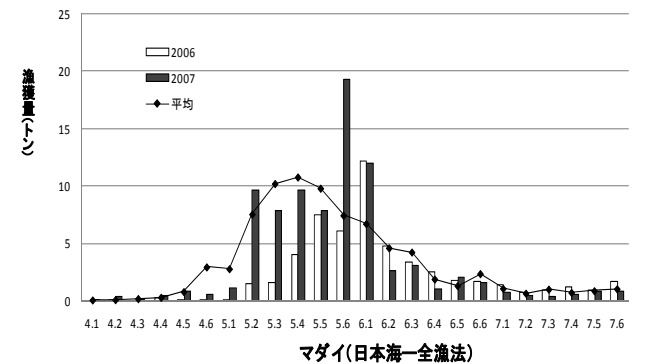
2. クロマグロ（日本海—全漁法）

日本海では、6月中旬までは過去5年平均並みからやや少なめで推移しましたが、7月中旬過去5年平均を大幅に上回る漁獲があり、7月下旬までの累積漁獲量は180トンで前年比303%、過去5年平均と比較すると361%でした。



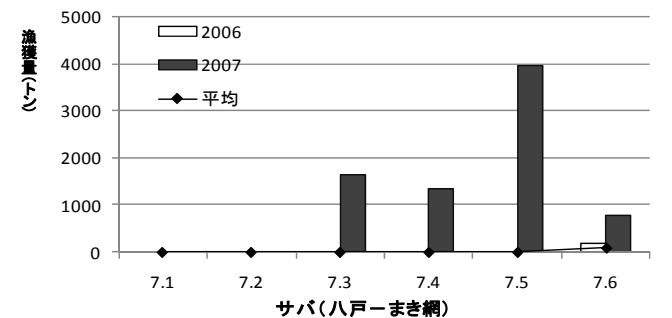
3. マダイ（日本海—全漁法）

日本海では5月の第1半旬までは過去5年平均を下回る水準でしたが、5月下旬～6月上旬にかけて過去5年平均を上回る漁獲があり、7月下旬までの累積漁獲量は83トンで前年と比べると152%でしたが、過去5年平均並みでした。



4. マサバ（八戸—まき網）

八戸では、例年より早い7月中旬から過去5年平均を上回る漁獲があり、7月の漁獲量は7,710トンで前年の44倍、過去5年平均と比較すると148倍で、過去10年間でも最高の漁獲量でした。



◎大型クラゲ出現情報

8月13日までの情報では、対馬周辺で大型クラゲの出現が確認されています。

- ・8月1～6日、長崎県の定置網に1～3個/日が入網していました。
- ・8月4～6日、対馬の西部では30～500個（傘径10～50cm）の出現が確認されました。
- ・8月7～9日、福岡県、長崎沖では1～3個（傘径20～50cm）の出現が確認されました。

（資料：（社）漁業情報サービスセンター <http://www.jafic.or.jp/kurage>）

平成19年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報

(独)水産総合研究センター東北区水産研究所は8月8日、関係機関の情報をとりまとめ以下のような予報を発表しました。

東北海区海況予報(今後の見通し(2007年9月~11月))

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏~やや南偏(35°20'N~36°20'N)で推移する。
- (2) 黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。
- (3) 下北半島沖および常磐沖の暖水塊は停滞する。
- (4) 親潮第1分枝の張り出しは、平年並~やや北偏(40°30'N以北)で推移する。
- (5) 親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°N以北)で推移する。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢(143°30'E付近まで)で推移する。

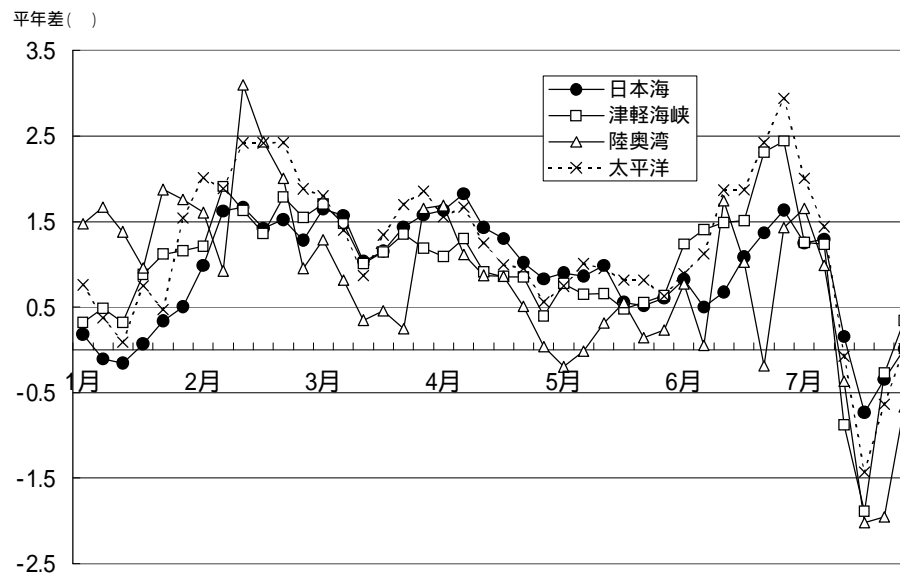
北西太平洋サンマ漁況予報(今後の見通し(2007年8月~12月))

- (1) 来遊量：来遊量は昨年を下回る。
- (2) 魚体：大型魚の割合は昨年を下回る。
- (3) 漁期・漁場：大型船出漁後の漁場は、道東沖~色丹島沖に形成される。三陸沖への南下時期は昨年並で、漁場形成は10月上旬になる。常磐沖での漁場形成は暖水域の影響により昨年より1旬ほど遅れ、11月上旬になる。

沿岸定地水温について

右図は1月以降の海域別定地水温の平年偏差を示したものです。1月~5月は各海域とも高めで推移しています。特に2~3月は日本海、津軽海峡でかなり高め、陸奥湾でやや高い~かなり高い、太平洋ではかなり高い~はなはだ高い状態でした。

6月は日本海、陸奥湾でやや高く、津軽海峡、太平洋ではかなり高くなっていました。7月第1~2半旬は、各海域とも高めで、第4~5半旬に入ると平年より低い状態となりましたが、第6半旬では平年並みになっています。7月平均でみると各海域とも平年並みでした。



大戸瀬沖の平均水温(ブイのデータ)

	1m層	10m層	20m層
8月6~10日	24.01	23.95	23.87
前回差	+0.20	+0.25	+0.33
前年差	-1.25	+0.02	+1.40

太平洋の海況(8月8~9日)

概況；沿岸水温は20台

太平洋沿岸域の表面水温

20台で前回と比べ1~2度昇温しています。

前年同期と同程度の水温です。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

20等温線でみると東経142度付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

親潮系冷水の南下

17等温線でみると北緯41度30分付近までで、張り出しは前回と変わっていません。

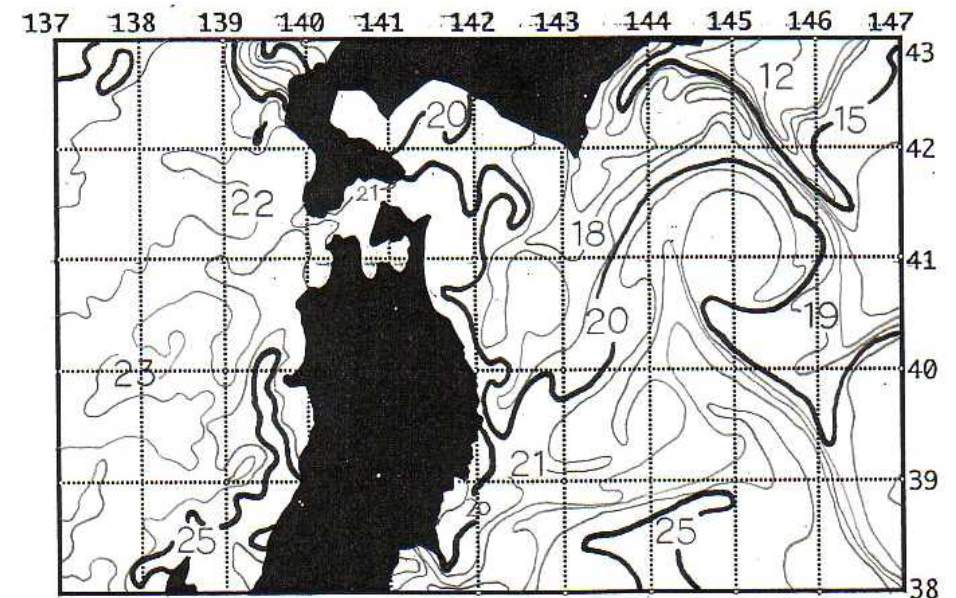
日本海の海況(8月8~9日)

概況；沿岸水温は22~23台

日本海沿岸域の表面水温

22~23台で前回と比べ1度ほど昇温しています。

前年同期と比較すると1~2度低い水温となっています。



資料：(社)漁業情報サービスセンター

北部太平洋海況情報 第37号 8月10日